

赤い靴通信 405号

走り続けたその後に もしむなしさがあるとしたら
それは人生とは言えない ともに語り 笑い 歌う 仲間がいなければ
生き甲斐があるとは言えない 走り続けたなおその後に
夢を追えると言うならば それが人生というものだろう
これは今なお活躍しているシニア女声合唱団「ザ・シワクチャーズ横浜」の入
団ご案内にあるフレーズです。

私たちは「赤い靴はいてた女の子像」を建立したパワーと余韻で、昭和62
年より地域の文化活動に積極的に関与してきました。先ずその年5月に赤い靴
ジュニアコーラスを募集したところ100人を越えるメンバーが集まりまし
た。横浜らしいセーラー服の可愛いユニフォームで、県や市のセレモニーを飾
ったり、大ホール主催のオペラやコンサートに出演したり、ホテルのクリス
マスカヤールの演奏などで各方面より高い評価を得ています。

さて、その年の6月に、シニア女声合唱団「ザ・シワクチャーズ横浜」が誕
生いたしました。その合唱団の主宰者・高木先生との出会いはその数年前で
した。私はある奉仕団体の役員で仲間二人と京都の全国大会の帰りでした。
グリーン車で先生は一人週刊誌を読んでいたところでした。仲間の一人が先
生の出身校翠嵐高校の後輩であったので話しかけたのです。先生は「ああい
いところに話し相手が出来た」と言って前の椅子を回して四人になり話は弾
みました。私はつい最近公募された先生作曲の「ヨコハマさわやかさん」の歌
詞に応募した一人として話ししました。「どのような歌詞だった」と聞かれ
たので応えると「記憶にある、最終審査に残った一つだ」と言っていました。
今でも思い出のその曲はゴミ収集車で聞こえるあれです。「音楽好きなら家に
来なさいよ」と言われ、翌月、先生を前から知っていると友達と伺いまし
た。先生からは「作詩に興味があるなら作品を持ってきなさいよ。いいのがあ
れば曲を付けるよ」と気軽に言われました。その後食事に行ったりしてすっか
り懇意になった頃「松永さん、この間長崎に呼ばれて行ったんだよ。名前は
ザ・シワクチャーズ長崎というのだが、皆おしゃやかな港町の女性だと思っ
た。同じ港町横浜でもつくったらかね」と言われ、いい提案だと思いまし
た。すぐに新聞社がこのことを取り上げ、百人ほどが集まったところでおし
ややかなコーラスとしてスタートしたのです。ただ、ネーミングがという声も

多かったのですが、先生は「いいじゃない！何かフランス語的で」そう聞くこ
言葉もおしゃれに感じて現在まで使っているのです。その後、つぎつぎとこ
れが新聞に出たからたまりません。高木東六といえは「水色のワルツ」や「家
族揃って歌合戦」の辛口批評で人気があった作曲家としても著名です。赤い
靴の事務局的電話は鳴り通し、結果的に600人でもとりあえずメタのですが、
キャンセル待ちは数えられませんでした。世界最大のグループになったので
すが、問題はレッスン会場です。とにかく場所が無く山下公園前の人形の家
のホールを借りましたが、キャパシティが148席です。やむなく3組に
分けることにしました。雪組・月組・花組と宝塚的でこれは受けました。それ
でも一組約200人です。ステージにもイスを置きました。夏と暮れには



2021年 元旦



ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル
クリスマスキャロル 2020 の風景
昨今の事情により赤隊Ⅲ14名が出演



合同レッスン&パーティーを催し、そのゲストには池辺良さん、松田トシ
さん、二葉あき子さん、石井好子さん、李香蘭さん、三笠宮寛仁親王殿下、並
木路子さん、深緑夏代さんなど60名以上の方を各回にお招きし、素晴らし
いお話や歌を聴く好機を得ました。その他に国内外の演奏旅行もあり、皆様
から本当に入って良かったと言う多くの御声が寄せられました。その頃、皆
さんの歌を聴いて私なりの作詩の「横浜ローズ」など4編が出来たので、先生
にお見せしたところ曲が付いて、高木東六・作曲 松永春・作詩の曲が生ま
れ、皆に歌われていて光栄です。

そしてその後、幼稚園生も入れるテンダーフット、男声合唱団、世界の名
歌を歌うセミナー、童謡・愛唱歌のワークショップ、横浜市民ミュージカル、
こどもミュージカルと学びの場を広げ、大勢の団員の人生の充実感を高め、
観る方にも喜びの場を広げたと自負しています。

さて、今年2月の横浜市民ミュージカル公演日当たりから全世界の人々が
その日常を一変する「新型コロナウイルス」の感染が急激に大流行してきた
のです。すでに横浜港に入港しているクルーズ船に多くの感染者が居るとい
うニュースに愕然としたのです。まだ公演日には観客・スタッフにマスクを
している方は殆ど見当たりませんでした。その後、三ヶ月間の外出自粛、緊
急事態宣言が出され人々が事の重大さを知ることになりました。学校も職場
もリモートでの対応になっていきました。私達のイベントも中止、延期、更
に延期と唯ならぬ状況に置かれたのですが、恒例の行事をなんとか実現し
たいとの気持ちを持って持ち続け、横浜市の劇場ガイダンスに添い、安全第
一で進めていきました。ソーシャルディスタンス、三密の回避、マスク着用、
手洗いなどを徹底し、皆よく守ってくれました。オペラも主催者・出演者・
ご家族の努力で素晴らしい本番になりました。不安な状況でしたが、ホテル
のクリスマスキャロルも双方の話し合いで、条件付きで実行され、結果的に
感動的なイベントとなりました。そして大晦日、恒例の山下公園の「ヨコハ
マメルヘン」も工夫をして催します。

2021.1.1 団長 松永春

今後のスケジュール

★2月11日(木・祝)
「横浜市民ミュージカル・メモリアル
2021」
～コロナ禍の今、贈る動画作品!～
①11時～②14時～
関内ホール・小ホール

★5月5日(水・祝)
こどもの日コンサート
県立音楽堂 演奏: 神奈フィル
赤い靴ジュニアコーラス動画で出演

★6/20(日)
第34期
赤い靴ジュニアコーラス定期演奏会
杉田劇場

★7/22(木・祝/海の日記念日)
第15回 中区ダンスフェスティバル
関内ホール・大ホール
①13時～ こども中心
②18時～ 大人中心